



これからの コミュニティ活動を考えよう

～ with コロナ、after コロナ～

- ◎開催日時 2020(令和2)年11月1日(日) 13:30～15:30
- ◎開催場所 川崎市総合自治会館大会議室
- ◎参加者 98名 他16名(事務局、コンサルタント等) 計114名
 オンライン(Zoom) 30名
 来場 23名
 YouTube 32名(開催中の最高視聴者数)
 トークセッション参加者 13名

◎内 容 開会及び川崎市のコミュニティ施策(まちのひろば)について
 第一部 講演会

「これからのコミュニティ活動～with コロナ、after コロナ～」

講演者: NPO法人CRファクトリー 呉 哲煥 代表理事

第二部 トークセッション

「新しい生活様式を取り入れた活動のあり方」

NPO法人CRファクトリー 呉 哲煥 代表理事

Vege&ArtFes 中村 ふみよ さん

オーベルグランディオ川崎自治会

川崎市職員PJチーム

質問タイム・まとめ

(閉会后) オンライン体験会

◎実施内容

「川崎市コミュニティチャンネル」に当日の様態をアップしていますので、そちらをご覧ください。

◎アンケート結果(回答者21名)

1 性別

性別	人数
男性	10
女性	10
その他	0
無回答	1

3 活動エリア(複数回答可)

活動エリア	人数
川崎区	4
幸区	0
中原区	9
高津区	4
宮前区	4
多摩区	2
麻生区	2
川崎市外	5

2 年代

年代	人数
10代	1
20代	2
30代	1
40代	2
50代	10
60代	1
70代	3
80代以上	0
無回答	1

4 参加方法

参加方法	人数
オンライン(Zoom)	9
来場	12



5 イベント情報の入手方法(複数回答可)

入手方法	人数
市政だより	2
市広報掲示板	1
区役所等にあるチラシ	6
職員からの案内	11
その他 (Facebook)	2
(チラシ)	1
(ゼミの先生からの紹介)	2

6 満足度

満足度	人数
大変良かった	7
良かった	10
普通	2
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
無回答	2

7 オンライン環境(複数回答可)

オンライン環境	人数
ない (オンライン参加は不可)	2
Zoom の使用可	17
YouTube の視聴可	18

8 オンラインと来場の同時開催

ハイブリッド開催	人数
オンラインだけの方がよい ・ホワイトボードなど、オンラインの方が見やすいと思った ・まずは、オンラインできちんとイベントを回せる様に経験を積んでから、同時開催とした方が良いと考えます。どっち付かずの対応により、オンラインの充実度合いが不十分となってしまう、その結果、対面の方がやり易いとの評価に繋がり兼ねないのが心配です。	2
対面だけの方がよい	0
同時開催でも気にならない	19

9 実施時間

実施時間	人数
長い	0
ちょうど良い	20
短い	1

10 本日の感想や次回のイベントへのアドバイス等(要約版)

- ・コロナ禍での活動方法等、いろいろな話が聞けて大変参考になりました。
- ・内容的には、呉さんのコロナ禍におけるコミュニティ運営のお話が大変参考になりました。
- ・新しいやり方にチャレンジしていく必要性を感じました。
- ・悶々と悩む中で、今回のイベントでは少し光が見えました。どちらにしましても、オンラインを取り入れていく必要性をつくづく思いました。
- ・実際に現場で活動している方の生の声を聴くことができ、とても有意義な時間でした。特にコロナ禍での課題やそれを解決するための工夫について聞くことができたのが印象的でした。また、地元の川崎でこのようにコミュニティ形成の取組が行われていることは今まで知らなかったなので、地元を再発見するいい機会にもなりました。
- ・街にあるショッピングセンターとして、その街に合うものを提供するためにはどうすればいいのか、街に溶け込み、街の人が交流し合える場を提供するにはどうすればいいのかなど、当社の抱える課題を解決するためのヒントとなるお話がたくさんある会でした。呉さんの講

演でまずつながりを作ることを教えていただき、つながりをつくる意味を再認識したうえで、さらにそのつながりのきっかけづくりになる川崎市で主に活動されているベジフェスの中村さんのお話もお聞きしたことで、ポストコロナの地域活動の仕方を学びました。

- ・具体的な話を聞くことができ非常に有意義な時間を過ごせました。川崎からは少し遠い場所に住んでいても、オンラインとリアル同時開催だったために気軽に参加することができました。
- ・Zoomにて、会場の映像と音声はとても安定していました。YouTube ライブの配信もあり、カメラとマイク、回線など、準備が大変だったのではないかと推測いたします。
- ・Zoom、リアル、YouTube の3種類のハイブリッドで開催されたことは良かったと思います。運営、進行ともトラブル感じることなく、快適に参加できました。
- ・まずは、コロナ禍というこの機会に、オンラインやリモートで何がどこまで出来るのか等、徹底的に経験値を積み、今後、技術の進化で解決していけそうな部分と、どうしてもリアルが必要な部分を見極めることが、将来、コロナが収まり、自由度が高まった時に、選択肢の幅を広げ、選択の基準を見出すことに繋がると思いました。
- ・コロナ禍の今に合った良い内容だったと思います。アフターコロナで、本日のことを「懐かしく」振り返る日が来ることを祈ります。
- ・市民活動団体や各区の行政とも、技術的なことも含めてハイブリッド開催運営ノウハウを共有できるとよいなと思いました。
- ・オンラインとオフラインのハイブリッド型によるリモート活動団体の事例などをもっと知りたいです。
- ・呉さんの講演内容はとても参考になるとともに、アンケート結果については共感するところが多かった。特にコロナ禍において、個人間の差が大きいことは実感している。コロナに対する個人差を乗り越えた実践を聞いてみたい。後半には、Zoomでも意見交流ができると、もっと多様な意見が出てきたのではと感じた。
- ・既存の「まちのひろば」的なものは、会員限定や事前登録制のものが多く、それをふらっと参加できるように工夫するのもありでは。
- ・川崎市の目指している「まちのひろば」づくりは、「オンライン」に力点を置くのではなく、「リアル」が「主」で、「オンライン」は「サブ」とすべき。
- ・「まちのひろば」のような区役所になるといいな。
- ・オンラインについての話が多く、コミュニティ形成についての本質的な話も聞きたかったです。コロナを怖がって動けなくなっている人への視点も大切なのかなと思った。
- ・Zoom参加者へバーチャル背景準備のアナウンスがあったので、何かしら顔出しのタイミングや企画があるのかと思いきや何も無いままでした。講演者に対して参加者の反応が分かる様な工夫があると良いと思います。
- ・アンケートはサイトを使った方が回答し易いですし、事務局としての集計も効率化できるのではないかと思います。
- ・これからはリモートネイティブな人たちが増え、地域に縛られないコミュニティ活動も活発となっていくと思われます。10~20年後に、オンラインやリモートに慣れた高齢者が増えれば、孤独な老人は減るかも知れません。その様な世界となった時に、地域毎に組織化されている役所には、どんな役割が求められるのかについて、今から検討しておくべきではないかと感じました。

◎ 当日の様子

